TTC･量子ICTフォーラム合同セミナー
～ 量子時代のセキュリティ最前線 ～

2021年10月12日（火）

導入説明

一般社団法人 量子ICTフォーラム

技術担当理事
量子鍵配送技術推進委員会 委員長
佐々木雅英

●ビジネス価値の高いデータや利用者に個別最適化された情報などが大量に生み出され、クラウド上に長期間にわたりに保管され続ける時代になりました。

●量子コンピュータのクラウドサービスも始まり、新たな価値創造が始まっています。それにともない、暗号技術の高度化による安心安全の確保がますます求められるようになっています。

●量子時代の幕開けとともに、暗号インフラの移行も始まりつつあります。
その移行は、かつてない規模で、より短期間での対応が求められています。

●今回は、量子時代のセキュリティ最前線ということで、耐量子計算機暗号と量子暗号、及びそれらの融合について、キーパーソンにご講演頂き、現状を共有し、今後の展望を皆様と議論してまいりたいと思います。

暗号技術の機能・性能マッピング



・様々な機能、セキュリティ要件を満す全能の暗号技術は存在しない
・情報セキュリティに一点豪華主義は無意味（ハッカーは弱いところを攻撃する）

様々な暗号技術を適材適所で組合せ、総合的にセキュリティを強化

一つの技術融合像：量子セキュアクラウド

高度な計算処理機能、高精度の時刻・周波数の供給機能、超長期の機密性・改竄耐性機能、データバックアップ保管・秘匿計算機能を備えたクラウドシステム

